

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスkanoa		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月20日		令和8年 2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和8年 1月20日		令和8年 2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	『自由』と『安心』の両立ができています。 自由を大切にしているが、1日の流れは明確。 挨拶・宿題・活動・片付け・帰りの会など生活の枠組みがある。 子どもが、自分らしく過ごせる安心空間を作れている。	・1日の流れを明確化し、見通しを持てる環境を整えている。 ・挨拶・宿題・活動・お片付け、帰りの会など生活習慣を大切にしている。 ・子どもが安心してできる声かけや関わりを統一している。 ・無理に活動へ参加させず、本人のペースを尊重している。	・視覚支援スケジュール掲示・タイムタイマー等の充実 ・職員間で支援の関わり方を共有し、対応の一貫性を高める。 ・自己選択、自己決定の機会をさらに増やす活動設計
2	個別と集団のバランスが取れている。 ・年齢や発達に合わせたグループ分け ・『一人ひとりに合わせる姿勢』	・グループ分けも 年齢・発達・経験値等 その時に応じた分け方を行っている。 ・集団活動で社会性を育てる機会づくり	・個別支援計画の5領域に基づいた活動設計。 ・成功体験を積み重ねる小さな目標設定
3	生活力を育てる実践的活動が豊富 ・調理実習(季節のイベント、子どもからの意見を取り入れた計画づくり) ・買い物体験、金銭トレーニング ・外出活動(公園、動物園、科学館、映画館、水族館等)体験型支援を行っている。	・調理実習や買い物体験を定期的実施。 ・金銭トレーニングを実生活と結びつけて行っている。 ・外出活動を通して社会ルールを学ぶ機会を作っている。	・活動ごとに『ねらい』を明確化する。 ・役割分担制を取り入れて主体性を育てる。 ・振り返りの時間を設け、学びを言語化する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参加型イベント(BBQ・クリスマス会)は実施しているが、支援内容や子供たちの成長についての話し合いの場が十分にもうけられていない。 保護者同士が情報共有や意見交換を行う機会が少ない。	・イベントは実施しているが、目的設定が『交流中心』となっていた。 ・イベントだと兄弟も参加できるが、話し合いの場をイベントとは別に設ける ・テーマを決めて 情報共有の場を設ける。	・保護者同士が交流できる時間(意見交流会等)を企画・実施する。 ・イベント内に交流を目的としたプログラムを組み込む。
2	地域との交流の機会が十分に確保されていない。 地域の海岸清掃や公園の清掃は行っている。	・地域資源の把握や活用が十分ではない。 ・交流機会を計画的に設定できていない。	・地域交流活動(地域行事への参加、外出活動等)を計画的に位置づけ、実施する。 ・地域資源の整理を行い、活用状況を記録し、継続的な改善につなげる。
3	情報の発信の見直し	・支援内容や活動の様子、研修等の情報発信が十分ではない。 ・発信に対する役割分担や仕組みが整っていない。	・おたよりや連絡ツール等を活用し、定期的な情報発信を行う。 ・発信内容や頻度を整理し、職員間で役割分担を明確にする。